

令和4年度第2回長浜市しょうがい福祉推進協議会 会議概要

日 時：令和5年2月17日（金）13：00～14：45

場 所：長浜まちづくりセンター 会議室1A・B

出席者：【委員】中村委員(座長)、林委員、雑賀委員（WEB）、加藤委員、太田委員
佐野委員、下川委員、橋本委員、増田委員、野坂委員

【事務局】健康福祉部：鶴飼部長

しょうがい福祉課：中上、真壁、富永、細川、吉田

欠席者：山崎委員、北川委員

《開会》

1. あいさつ

長浜市健康福祉部長から開会の挨拶があった。

2. 議事

(1) 「手話で共に暮らす長浜市手話言語条例」について

別紙資料により現在までの協議・検討状況、条例の概要について、事務局から説明があった。委員からの主な意見は下記のとおり。

(委員)

周辺自治体で手話言語条例を制定しているのはどこか？

(事務局)

米原市、近江八幡市、大津市、甲賀市、栗東市の県内5市で制定されている。

(委員)

県レベルでの動きはどうか？

(委員)

県は手話言語条例という制定はなく、情報コミュニケーション条例と手話言語条例の一体型の条例の策定を進めている。当初は今年度中の条例制定を計画していたが、予定通りにはいっておらず、最終9月議会での承認を目指している。3月20日に専門部会を実施し、素案を策定。次年度総務課で法規審査会を受けて夏ごろにパブリックコメントを実施予定。意思疎通と手話言語別々で条例を制定してほしいという意見も専門部会で出ており、意見が分かれているところではあるが、専門部会の上位にあたる協議会において一体型での制定と決定がなされた。

(委員)

前段で差別解消条例の委員として会議に出席していたが、その頃から聴覚障害者団体は手話言語条例を独立して策定してほしいという強く要望されていた。手話が言語としてではなくコミュニケーションの手法の1つだということとする意見と独立した言語として条例を策定すべきであるという意見の対立があった。その背景には、国連の権利条約の中に明記された「手話を言語として確保すべき

だ」ということに従うのであれば、なぜ県は一体的な条例制定をされるのかという思いがある。ここは県に対して意見を言う場ではないのでこれ以上の発言は控えさせてもらう。県を追求するつもりは毛頭ないのでお含みおきいただきたい。長浜市においては手話言語条例の制定を行うことが難しいと思っていたが、とんとん拍子でここまで進んできており、努力をされたのだと思う。欲を言えば米原市より早く条例を制定できればよかったと思う。

(2) しょうがい者差別解消について

しょうがい者差別に関する市への通報が今年度0件であったため、資料により、差別解消に関する啓発について事務局から説明があった。委員からの主な意見は下記のとおり。

(委員)

事案が0件であるというのはおかしいと思う。以前から継続して問題が解決されていない事案もある。また、ある郵便局の側溝のグレーチング幅が広すぎて、車いすのタイヤがはまってしまうということも事案としてある。少なくとも公共的な施設の側溝グレーチングについて、車いすのタイヤがはまらないようなものを至急に整備されたいとその郵便局にも申し入れを行った。長浜まちづくりセンターの駐車場の入口が変更されたことを今日初めて知ったが、入口が傾斜になっており、坂道発進が必要になる。私は足が動かないため、手でアクセル、ブレーキ、ハンドルの操作を行っており、入口で駐車券を取るのが至難の業である。駐車エリアの中に車いすマークがその他の施設と比べても多くあるが、そういったところに合理的配慮がない。

本来は差別解消条例の県レベルでの制定の際に、アドボケーターの配置がなされたが、各アドボケーターが事例を収集する仕組みがない。先ほどのグレーチングの件のように私自身が感じる不都合性だけではなく、地域には多くの合理的配慮がなされていないことがあると思う。それを言っていく先がない。アドボケーターがその役割であると思うが、県へアドボケーター担当者に連絡をしてもコロナ関係業務の応援にでていると言われ連絡が取りにくい状況。県としてはアドボケーター事業に関する取組をされていないのか。

(事務局)

県と啓発を実施した際にも、県のアドボケーターに関する専門員の方はアドボケーターと連携して合理的配慮に欠けたところについて働きかけを行っていきと言われていた。コロナ禍でその後どうなのか分からないが、そのような報告をされていた。

(委員)

現在の専門員について、前任の方に比べ、滋賀県をくまなく歩いているというようには私には映らなかった。以前は健康福祉事務所にアドボケーターを招集し、情報を集約する機会があった。また、アドボケーター制度を運用するにあたって相談

は受けても匿名性を要望される点も障壁としてある。

(座長)

通報が0件であったというのは現実とギャップがあると委員みなさま感じていることと思う。その要因としては、仕組みにうまく乗っていないことや、不便と感じても受け入れているという方もおられるといったことがあると思う。また、その両方で不便と感じていても仕組みに乗せてまでなにかしようと思われる方が少ないということも考えられる。

(委員)

手話言語条例の制定について、長浜市米原市両市で一緒にしたかったという思いがある。身体しょうがい者と聾者にも微妙にあってないような溝がある。そういった微妙な違いの軋轢を埋めていかないとしょうがい者差別はなくならないと思う。

(委員)

精神しょうがい者の方と関わりが多い中で、目には見えないところの差別を受けておられるように感じる。その発信がなかなか当事者や家族からしにくいように感じる。そういった方々が当然のように発信できるような仕組みが必要かと感じている。

(座長)

しょうがい者差別の報告ルートが機能すると事例があつまると思うが、現状うまく機能していないように感じる。

(3) 長浜市しょうがい福祉プランの策定について

別紙資料により現長浜市しょうがい福祉プランに係る取組状況及びプランの策定スケジュール、アンケート項目等について事務局から説明があった。委員からの主な意見は下記のとおり。

(委員)

日本は障害者権利条約を批准しており、スイスのジュネーブにて開催された国連の人権委員会にて批准後の取り組みを報告された。日本の現状として各都道府県市町村同じような数値目標の増減に端を発し、あたりさわりの項目で全体を網羅しているというように感じ、少し批判的にみている。権利条約の中で日本が進んでいない点が大きく3つある。精神病の方の社会的入院の解消、住居の問題、インクルーシブ教育の推進である。そのあたりを長浜市のしょうがい福祉プランには濃く取り入れていただきたい。どこにもあるようなものではないものを作っていただきたい。

(座長)

今回の長浜市しょうがい福祉プランのポイントはここだという部分がいつもの事務局の説明の中ではまだないように感じた。他市のプランも5つの柱があつてというような内容になっている。他市のプランも参考にしながら作成するのでどこもそうなるのは仕方のないことではあるが、せつかく委員として発言できる機

会があるので、長浜市のしょうがい福祉プランとしてこういう特色を出してほしいという先ほど委員がおっしゃったようなご意見はとても理解できる。インクルーシブ教育についても、日本は現在の方針をインクルーシブ教育としているが国際的な認識とは違うという意見もある。そこを市としてどう認識するのかという難しさもある。各委員からも今回のプラン策定に関して、こういった内容があった方がよいのではないかというご意見をお伺いしたい。

(委員)

長浜市としての強みみたいなのところがあると思う。そういったところをもっと伸ばすことで長浜市しょうがい福祉プランの特徴としても良いのかなと思う。今期のプランの評価をより明確にすることでその強みをもっと見えてくるのではないかなと思う。質問だが5つの柱はそのまま、その中身を変えていくという理解で良いか。

(事務局)

おっしゃるとおり。

(委員)

文句をつけようがないプランを作るのではなく、理想を追い求めてこんなことができるのかという文句を言われるようなプランを作成いただきたい。

(座長)

福祉はいまと比べて以前は運動としての色が強いが、現在は良くも悪くも日常活動としての色が強くなったように感じる。運動として活動してこられた方はどうなのかと思われることもあると思うし、私自身もそう感じることもある。その精神はありつつ行政が作るプランであるということも考慮し、どこまでできるかというところは事務局で考えていただく必要があると思う。

(委員)

今回当事者アンケートを取られるということで貴重なご意見がいただけると思う。普段当事者の方から他市ではこうだが、長浜市ではこうではないといったような生の声も聞いている。現在のアンケート項目は選択式だが、具体的に書ける記述式の設問も設けた方がよいと思う。

(委員)

プランの中で老障介護について触れていただきたい。また、プランとは異なるが、長浜市で各しょうがい関係団体向けの新型コロナウイルス感染症の対応指針のようなものがあれば教えていただきたい。

(事務局)

市として独自で作成してはならず、県で作成されている方針に沿って活動をいただきたい。また、感染症については健康推進課が所管のため、活動に際して気になること等あればご相談いただきたい。

(委員)

成年後見制度の是非についても触れていただきたい。

(座長)

成年後見制度について、行政は推進しないといけない立場であると思うので、成

年後見制度に関して否定的な意見をプランに記載するのは難しいかと思う。

(委員)

旧長浜市内と北部地域でサービス格差があると思う。移動サービスについても社協は北部から撤退をされた。そういった格差をなくすということについてもプランで触れていただきたい。また、原発事故の対応マニュアルについてもしょうがい者のことも考慮し、自分たちのことは自分たちのことで決めるという前提に立ったような対応マニュアルの作成をお願いしたい。米原市では作成が進められている。

(委員)

サービスの地域格差の件に関して、長浜養護学校の送迎バスが木之本止まりであるが、西浅井地域へも送迎範囲を広げていただけないのか。新旭養護学校の送迎バスは永原駅まで送迎がある。

(委員)

県の管轄であるが、担当が異なるため詳しいことは分からない。

(委員)

インクルーシブ教育について、当事者と保護者の方が養護学校ではなく地域の学校を選択することが増えてきているように感じる。地域の支援学級と養護学校と比べると支援員の数が地域の支援学級では少なく、生徒の障害特性にあった教育がなかなかできないという声も聞く。養護学校と地域の支援学級が連携して支援体制を構築していく必要があると思うが、一方で、しょうがいの重度化や多様化もありなかなか難しい部分もある。

(委員)

養護学校を卒業したら皆社会に出て生きていく。先生自身が養護学校の先生とそうでない先生が分離されている形は改善していく必要がある。卒業後の進路も今の養護学校の延長のような形を取らざるを得ないのが現在の分離教育の現状かと思う。その人に応じた教育の在り方は個々によって違うという前提であり、統一したものではないとすれば、その色々を分けるのではなく、ひとつの場所に一緒に色々な思いの生徒がいるという方が良いのではないかと思う。実際に自身も分離教育を受けた身であり、分離ではなく一緒に過ごすということの大切さをお伝えしたい。

(委員)

地域の学校から養護学校へ移られる方もおられるが、地域で学びたいという選択をされたのであればその思いが叶えられるような体制づくりをしていければ良いと思う。

(座長)

これは大きな話で、この場でどうこうというのが難しいが、両方の意見も理解できる。特別支援学級に否定的なご意見をお持ちの方もおられる一方で特別支援学級での専門的な支援を必要とされる保護者の思いもある。長浜市のしょうがい福祉プランやこの協議会でどうこうということは言えないと思うがどちらの意見も理解ができる。

(委員)

社会福祉協議会でも長浜市しょうがい福祉活動プランの策定について検討を始めている。その中で障害者手帳所持者数等の数字はすぐ分かるが、例えば世帯の中での手帳所持者数や高齢者としょうがい者の同居世帯数等、把握が難しい数字について調査することも現状の分析に有効ではないかという話しもしている。また、防災としょうがいとの連携というものが取れていけると良いと思う。

(委員)

最終的には人権と尊厳に行き着くのがしょうがい福祉プランだと思う。プランにはそのために何が必要で何をしなければならぬのかが明文化されているかと思うが、人権の部分で言うと先に話のあった社会的入院がまさにそこに一番にひっかかる部分かと思うので、そういったところを推進していくようなプランになれば良いと思う。また、先ほどから出ている移動の手段については、しょうがい者だけでなく地域の問題でもあり、取り組んでいくべき課題であると思う。

(委員)

アンケートの問 13 について、「難病（特定疾患）の認定を受けていますか」ではなく「特定医療費を受給していますか」という項目に変更した方が良いのではないかと思う。また、問 43 以降に防災に関する問いがあるので、関連して「災害の備えをしていますか」という設問を啓発に意味も込めて設けてはどうか。

(座長)

先ほど話に出たアドボケーターの件についても啓発の意味を込めて「アドボケーター制度を知っていますか」という項目を追加するのも良いと思う。

(委員)

権利条約の批准の時に我々のことを我々抜きで決めるなという問題提起があった。先ほどの長浜まちづくりセンター駐車場入口の件についても、しょうがい者に相談しているように見えてしていない。みんなが地域で生きて是正されるものがあるが、分離してしまうとそうならないと思う。しょうがいを持つことによって悲しい思いをしない社会を目指していきたい。

(4) その他

委員からのご意見、質問はなかった。

事務局より、障害者手帳アプリ「ミライロ」の案内及び、次年度の協議会についてはしょうがい福祉プランの策定のため、年3回の開催とする旨の報告を行った。また、本日の議事について随時ご意見をいただきたい旨をお伝えした。

5. 閉会

長浜市健康福祉部しょうがい福祉課長から閉会の挨拶があった。

《終了》